



藤原マサノリ (志政会)

市長所信表明について

- 問 物価高、災害、人口減少など、市民が抱える不安や危機感を市長はどのように感じているか伺う。
- 答 市民生活の厳しさへの取組みは喫緊の課題と受け止めている。国や都と連携して対策に取組んでいく。
- 問 ギフトカードの費用対効果を測り、より効果的な次の手に備えるべきと考えるがいかがか。
- 答 ご指摘のとおり、今後の経済対策に備えて費用対効果を測る準備を進める予定である。
- 問 災害関連死をなくすための様々な提案を2年前にした。口腔ケアなどのその後の具体的な進捗を伺う。
- 答 避難生活向上のための資器材を導入してきている。口腔ケアのウェットティッシュ購入への予算化も行った。
- 問 ニュータウンの再生キーワードは賢く縮むこと。市が自らランドデザインを描くべきと考えるがいかがか。
- 答 市が主体的な立場に立って、若年層の流入促進、多世代共生の実現に努めていく。



早川かん (日本共産党)

1. 小中学校の学用品等に対する補助を
2. 市内バス路線を増便へと転換するため、運転手確保の緊急対策を

- 問 物価高騰の中、さらに学用品補助が必要ではないか。
- 答 これまでも支援策を行っているが、今後も国や東京都の取組みと連携し、時々の状況に応じ支援策を検討する。
- 問 「交通マスタープラン」がいう「基本理念」と、市長が述べた「交通権」の概念との関係や同一性を問う。
- 答 「交通マスタープラン」では「交通権」という言葉こそ使っていないが、目標・趣旨は同じである。
- 問 公共交通の維持・充実、健康施策や介護予防施策の一環としても位置付けているか。
- 答 「移動の手段」は大切な社会基盤の一つである。
- 問 自動運転の実用化・普及により、運転手不足が解消する具体的な時期はいつになると市は考えているか。
- 答 市として明確に時期を示す段階にはまだない。
- 問 運転手不足解消のため、他の自治体の取組みも参考に、バス事業者への直接支援が必要ではないか。
- 答 国や東京都の施策や補助制度に加え、他自治体の動向等も注視し、実施可能な支援の取組みから推進していく。



岸田めぐみ (生活者ネットワーク)

1. ジェンダー平等について
2. 夏の暑さ対策について

- 問 女と男がともに生きる行動計画の成果と課題を伺う。
- 答 取組みは前進しているが、依然残る固定的な性別役割分担意識や意思決定過程への女性登用の遅れがある。
- 問 各所管が行っている調査で、男女間の差異や傾向を客観的な数値として把握・可視化しているか。
- 答 事業の目的や内容に応じて、男女別の統計を実施している調査はあり、必要な分析は行われている。
- 問 可視化した調査結果は、どのようなプロセスを経て施策や予算に反映しているか伺う。
- 答 市の統一した取組みとして、男女間の差異や傾向を可視化し、施策や予算に結びつける仕組みになっていない。
- 問 安全確保の観点から学校における暑さ対策の重要性を認識し、研究すると答えている。研究にはスパンと対策に活かせるデータが必要だと考えるがいかがか。
- 答 スケジュールは定めていない。データは学校環境衛生基準に基づき、年2回測定している。試行的に温度や湿度を測定・保存できる温度測定器設置を検討している。



藤條たかゆき (日本維新の会)

1. 子ども主体の探求学習と学校づくりについて
2. 学校行事・部活動における安全確保

- 問 学校外の探求的な学びを支援する「たまなびパスポート」が4月からスタートした。これまでのESDとの連動と、学校の中でも子どもたちがもっと自由に選択し、探求できる環境を充実させていく必要があると思うが、子ども主体の学校づくりについての展望を伺う。
- 答 たまなびパスポートは子どもたちの学びの選択肢を広げる制度。自ら問いを立て地域や社会と関わる学びを広げたい。子どもを信じて任せる主体的な学びは重要であると認識しており、学校内外の学びを融合させていく。
- 問 昨今、部活動遠征中や修学旅行中における事故が報じられており、学校行事や部活動における安全対策について、危機管理マニュアルの再点検や、説明責任について伺う。
- 答 昨今の報道を受け、部活動の遠征等について安全確保を徹底するよう各学校へ通知した。遠征の際の安全対策など、保護者への丁寧な説明を心掛けてまいりたい。

